

ねらい：今年度の教育課程・学校経営方針に基づく教育活動を振り返り、来年度の教育課程、および教育計画作成に生かしていく。
 記入に当たって：学校全体のことを考えたうえで、今後の学校運営が充実したものになるよう建設的な意見になるようにする。

	問題点	部会改善案	全体会 追記	
1	年間行事予定 ※次年度の展覧会は12月(水木金土火水)で個人面談期間中の予定。	2学期に行事が固まっています、2学期が忙しく感じました。 運動会など、午前で終わる行事の日の午後も授業などがあると、児童も教員も集中力がもたない。 テレビ朝会・集会は移動もなく、次の活動に遅れずに入れるが、全体で集まって静かにする習慣が身につかない。	・1学期中旬から水泳指導が始まり学期中に終わる。2学期スタートから練習ができるため運動会は10月中旬を予定している。展覧会は12月中旬で、前半後半という感覚で分けている。 ・運動会の片づけは手伝ってもらいたい。運動会委員長と確認する。 ・感染症が流行る時期は全体での集合を控えざるを得ないが、その他の時期については校庭での集まりを増やしていく。 ・大縄の取り組みは、体育部と要相談。 ・展覧会の3学期は長期的な保管場所確保が難しい。	・感染症、熱中症流行期を除き、校庭での集まりを増やす。
2	週時程・生活時程	児童の下校時刻が遅いため、児童下校後から退勤時刻までの時間が短い。13時から13時5分までの5分間を持て余す。	・5分間の短縮は、放課後の時間確保のために行いたい。どの学年も給食の片づけ(給食当番含む)まで完了できれば。 ・生活時程は改善していかなければならない。(掃除なしの曜日を作りモジュールを入れるなど)	・授業時数との兼ね合いでモジュール等変更がある。
3	始業式・終業式	リモートではなく、全校で集まって式を行いたい。	・暑さ、感染症などを鑑みながら出来るだけ校庭もしくは体育館での式を行うようにする。	
4	通知表・評価規準	3・4年外国語活動は前期後期両方の評価は大変。	・保護者への説明として每期載せる。	
5	学級編成	新担任が分かってから、編成を決めたり、児童を入れ替えたりするなどしたので、偏りが大きかった。 学級編成に偏りがあった。担任関係なく、均等にしてほしい。	・各学年の学級編成会議前には、極端な偏りが無いよう周知する。	
6	学校配置	個別指導として使用できる教室があるとよい。	・配慮して配置はするが、物理的な面も鑑みながら対処する。	
7	校外学習・社会科見学	クラス数でバス配車して欲しい。 年度はじめのうちに専科が行く回を決定しておかないと、日程を合わせられないことが度々ある。	・区のバスについては対応が難しい。私費でのバスは今後も一人当たりのバス代が高くなると思うので、3台で納めていきたい。 ・専科は、年度初め(時間割が決定した時期)に行く人を決定するようにする。	・バス代も高騰するので、4クラスでも可能であれば3台にしていくことも検討せねばならない。
8	転出手続き	転出の回覧を各担当が回覧するのに時間がかかり、処理が間に合わないことがある。	・回覧チェックの人数や順番を再度見直す。転出係と確認します。	
9	弦巻ルール	学級ごとの徹底度にばらつきを感じる。	・年度初めや年度初めにつるスタとタブルールの時間を必ず設けるようにする。	教育計画を読む。 教員用のルール「弦巻ルール」と児童のルール「つるスタ」と間違えやすい

教務

10	企画会・職員会議、C部会・行事、夕会 (議案・進め方)	働き方改革として、夕会の回数を減らす。 夕会を時間内に終わらせたい。できるだけ短くしたい。 変更点が部会内での共有で終わり、周知されていないことがある。 企画会の開始時刻が早すぎて間に合わないことがあった。 行事などで、最新の提案や訂正箇所が周知されず、混乱することがあった。 職員会議、C部会等、定刻に始まらないことがある。	・teamsの連絡→確認を徹底することで夕会は減らせる。 検討・火水曜日が通常夕会で、金曜日が生活夕会のみとする。 ・生活時程の5分引き上げを検討中である。それにより下校指導に少し余裕が生まれる。 ・全員が集まらなくとも、学年に一名（もしくは島に一名）いれば始めることとする。	・teamsをメインに扱う。 C4thには「teamsに入れた」旨を入れる。 ・メンションを活用する。 授業中は音が鳴る、画面を映している可能性があるの で注意。リアクションも活用する。 ・「教職員連絡チャンネル」 を開けば最新情報が見られるように、投稿するときにはリンクを貼っておく。 ☆毎朝確認する習慣をつけ
11	学校運営組織 各部・委員会所属並びに校務分掌			
12	学校公開期間（年9日間）、土曜授業（年2回）	公開の曜日が、偏っていた。 運動会の月に学校公開は必要ない。	・本年度1学期（土火水）2学期（月火水）3学期（土火水）であった。木金も入るようにする。※月＝土と考えると。 ・公開と行事の日程は近すぎないよう配慮します。	
13	年間指導計画			
14	私費会計の徴収・処理			
15	保護者や地域の方への情報提供			
16	入対・卒対委員会（昨年度、今年度初頭をもとに）	R6の入学式委員長が在職していた上、1年の担任ではなかったため、R7の入学式までやればよかった。	確認・年度をまたぐので引継ぎが難しい。長は2年学年主任になると思うが、前年度の入対全員のだれもが引継ぎできるようにしておく。	
17	補教	児童の出欠がすぐーるに入っていないことがあり、朝の補教で入った際にわからない。念の為職員室にお願いして確認をしたところ、「学校の方で情報を共有してくれていると思っていた」と保護者から言われることがあった。	補教カードに欠席欄があるので、不登校児童は下線を引くなどの共通ルールを作る。	
18	全国学力調査			
19	OJT（若手研）	主任教諭の講話を聞くだけでは、受け身の研修だと思う。	検討・年度初めの1回目は6年目の方が主導で年間の見通しを立てる。以降、若手研メンバーで会を回していく。講師が必要な場合も自分たちで調整する。	
20	使いやすい校務処理（サーバー、フォルダ、ファイル、C4thとteamsの関係）	連絡が、C4thとteamsどちらにあるのか分かりづらい。 何が最新の提案なのかわかりづらい。	確認・teamsをメインに連絡をします。ファイルの移動がまだひと手間かかるので、C4thに載せた旨をteamsにあげてください。 古い同ファイルは担当が削除することとします。	
21	ホームページ			
22	すまいるとの連携			
23	備品管理			
24	キャビネットの割り当て			

25	その他	単P研修会は、「研修会」という名なのに、「交流会」で良いのか？（P主催なのかもしれないが）		
----	-----	---	--	--

生指	1	看護当番	担当日には校庭に出るようにしたい。	・改善案の通り	
	2	月目標・週目標	週目標では、期間も短く、児童の意識も高まらないため、目標を達成しづらい。 月目標、週目標、つるスタの3つを1週間で達成するのは難しい。 週目標が2つあるのは、六組児童にとっては多い。2つの目標に関連がないのも分かりづらい。	確認・月目標をベースとして、ベースをかみ砕いて週目標を設定する。 確認・つるスタは学校のルールが示されている確認事項として捉える。	・週初めの看護当番の話は、月目標を基にした話をする。 ・必要に応じて、前週の振り返りの話も入れる。
	3	弦巻スタンダート	子供達には周知できてきているが、保護者への周知があまりできていない。	・4月に紙での配布と、保護者会でアナウンス。	
	4	校庭の使い方			
	6	朝会（持ち方・隊形）	整列時に位置が分かりづらい。	・マーカーを購入し、校庭に打つ。（体育的活動と相談）	
	7	靴箱割当・整列順			
	8	安全指導計画・毎月の安全点検			
	10	セーフティ教室	（3年）子どもたちが関心を持ちにくい。	・関心もてるように、担任が事前事後指導する。	
	11	特別支援コーディネーターについて	支援員さんと担任とコミュニケーションをとる時間が取れていない。	・支援員へ直接言いにくい場合は要望を特別支援教育コーディネーターに伝える。	
	12	避難訓練			
	13	挨拶	挨拶が返ってこない児童が多い。生活指導や特活のあいさつ運動など、いろいろと取り組んでいるにも関わらず、成果が上がっていないように感じる。	・粘り強く指導をしていく。	
	14	生活アンケート・webQU・いじめや不登校対応			
	15	学区図・通学路	通学路を正しく理解していない児童や保護者がいる。併せて、通学路の各コースに本線を決める必要がある。通学路を守らない児童がいる。	・改善案の通り。	・決定し次第、改めて周知する。
	16	上履き貸出・落とし物	上履きの借り方・返し方に課題がある。サイズがないなどがある。	確認・貸し出し廃止。外履きを拭いて使う。	・長靴については再検討。
	17	保健計画			
	18	保健室の利用			
	19	来室が必要なけが			
	20	事故発生時の対応			
	21	嘔吐発生時の対応			
	22	アレルギー対応			
	23	給食指導、食育、アレルギー除去食			
	24	学校保健			

	25 校内委員会	校内委員会にインクルーシブ教育支援員がないので情報共有が不十分ではないか。	・必要に応じて参加してもらう。	
	26 その他	学校内外でのトラブルや事故など、共通認識されていないことがある。共通認識しない方がいいこともあるが、一度情報を整理した方が良く考える。 下校時の見守りだが、現状有志で立ってもらっている。一斉下校の時に少ないこともある。	・生活夕会で共有するもの ケガの報告（保健室から声掛けがあったもの）を共有。 いじめ、金銭が関わるもの ・看護当番が、下校の見守りもする。見守りが必要なくなるように指導をする。	

特活	1 全体計画			
	2 年間計画			
	3 クラブ活動	クラブ見学の日が2月上旬で6年生が少なかった。	・1月に新規クラブの提案を行えるようにする。 ・教務と相談し、1月にクラブ活動を設定し、クラブ見学も行う。	
	4 委員会活動	仕事を覚えてきたところで終わってしまう。 活動の多い委員会と少ない委員会の差が大きい。 常時活動のある委員会の教員の配置について考えて欲しい。	検討・理科委員会をなくし、環境整備委員会を環境委員会と美化委員会に分けて、活動内容の棲み分けを行うのはどうか。また、各委員会で年度当初に内容を精査する。（引き継ぎカードを作成し、活動内容を精査するときに活用する。） ・来年度も半期ごとの活動期間で行う。（変更点があるため、まずは半期ずつやってみるのはどうか。年間を通して同じ常時活動を行うことが難しいものもあるため。） ・教員の配置については配慮する。	
	5 児童集会	集会の内容をもう少し検討したい。	・移動が少なくても楽しめる活動、全体への指示が通りやすい工夫、安全に行えることなどを考慮して集会委員会で計画を立てる。（教務と相談しながら年間計画を立てる。）	
	6 異学年交流	2学年の交流だけでなく、全学年で交流する場を設けたい。	・部会としては、縦割り班活動を実施する方向で考えている。他学年との関わりが増えることで、挨拶など、学校の課題改善にもつながると考える。	縦割り班活動に絞り、異学年交流はやめる。メンバー構成については配慮する。 縦割り班活動の教育計画を作成する。
	7 特別体験計画			
	8 迎える会・送る会	1年生を迎える会が月曜に設定されており、慌しかった。	・月曜日には設定しないようにする。	
	9 麦っ子タイム	六組にも麦っ子タイムがほしい。	・水曜日を、六組の麦っ子タイムとする。	
	10 キャリアパスポート キャリア教育	キャリアパスポートがうまく使えていない。	・次年度は学年で相談しキャリア担当としてはたたき台として各学年に提案する。 ・キャリアパスは中学までの6年間の積み重ねでファイリングしているので、次年度の自分の目標を踏まえながら新たな（同じでもステップアップした）課題を設定するようにする。	「めざす自分」と「学習面」「生活面」、全体像をふまえて再検討。
	11 その他			

	1 授業力向上・授業改善			
	2 伝え合い・学び合い			

研推	3	「せたかや探究的な学び」学びのサイクル			
	4	学びを広げる深めるための手だて			
	5	部会の在り方	1～6年の先生がいることで、系統性のある研究ができるが、学年間での関わりが薄い部分があった。 専科部会は人数が少なく、負担が偏りがちだった。7月の一斉での研究授業の際に、自分の部会の授業に出られないことが残念だった。	○部会のもち方は、各部会の授業と学年の授業として、研究授業に2回関わることとなる。今年度のねらいとしてはより多くの授業に参加してほしいということがあった。今年度の研究は部会での考えが強くなりすぎてしまう部分があった。学年も絡めての研究としていく必要があった。また、部会で学んだことを各学年で活かしていく考え方も定着していなかった。学年から部会に考えを広めていくも大切になると考える。 ○メンバー構成は各学年に任せていたが、研推でもメンバー編成を行っていく必要があった。 ○その他の問題点や改善点については、年度末に研究のまとめをする際に、今回いただいた意見を参考にして、来年度の方向付けとしていく。	
6	その他	指導案検討会や、部会の集まりが多く、16：35までの学年会がでなかなかできない。	○時間の問題については、教務と相談して部会検討会を設定をしていく。月一回ぐらいを目安とする。		

体育	1	体育授業	時間割を組む際、同学年が連続してもらえるとありがたい。	今年度もなるべくそのように組んだ。来年度もなるべくそのような時間割担当と相談する。	
	2	休み時間の運動			
	3	クラスボール・長縄管理			
	4	体育朝会			
	5	駅伝			
	6	その他	体育館の奈落にある用具の所在が不明確である。 体育倉庫のものも片付け方が悪いことがある	何があるのかを周知する。 子供に任せず教員が片付ける。運動委員会でももう一度確認する。	

避難訓練、水泳指導、運動会、音楽祭、体力テストは各自反省を集計しているので割愛した。

ICT	1	児童のタブレットの活用	各クラスで児童の技能の足並みがそろっていない。	教育計画通りに実施できるよう、適宜周知をする。キャンバなどの新たに追加された機能については、OJTやICT通信にて情報共有を行う。	
	2	情報リテラシー			

教科・教	1	算数少人数指導			
	2	教科「日本語」	教材・教具を引き継いでほしい。世田谷区独自の取り組みなので、他地域から異動してきた人にとってはハードルが高い。	職員室内の棚に日本語の棚を用意し、各学年で使用した教材を収納しておくのはいかがでしょうか。データも集約し直したい。	
	3	総合的な学習の時間			
	4	外国語活動・教科「外国語」			
	5	特別な教科「道徳」			

科 外	6	視聴覚機器の管理	EZ Castが繋がらない。	有線については、全教室に設置済み。（不具合にはその都度対応し、予算がある限りは交換を行う。） 無線については、appleTV（EZ Castより安定している）を活用することも視野に入れて検討中。	
	7	その他			

※上記内容は、各部会、協議内容の多少により割り当てさせていただきます。